

その「物語」の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.130

a taste of Ya'ssy

田中 康夫



たなかやすお ● 56年東京生まれ、作家。'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選。'09年に衆議院議員に当選、1期務める。『文藝』（河出書房新社）2013年冬季号から17年ぶりに小説の連載を開始。【公式ブログ】<http://www.nippon-dream.com/>



巻き添えテロの「自爆史観」が「日本及び日本人」への信頼を毀損する

今週の逸品



タツハンマリ鍋 3200円

韓国の潇洒な住宅にも似た三階建て。二階は温泉＝オンドルの空間。三階は亜細亜の保養地。焼肉も可能な一階を僕は推奨。唯一の難点は全席喫煙可なるも近く改善の見込み。好みてタツハンマリの汁椀に加えるべく塩、胡椒、酢辛子、唐辛子等も用意。閑話休題。勝てば官軍・負ければ賊軍は洋の東西を問わず。悔しくとも「敗戦国」の境遇を直視し、国際秩序の維持安定に貢献してこそ欧米アジアからも一目を置かれる日本。

【草思庵】東京都港区西麻布3-24-5 ☎03-3478-2206 営平日11:30~14:00、18:00~26:00 日祭17:30~22:30 年中無休 <http://www.soushian.com/>

illustration by Hajime Anzai

遠山光雄氏が10年前に構えた「草思庵」は、西麻布の奥まった一廓に佇む料理店。
写真のタツハンマリは、鶏Ⅱタツ、一匹Ⅱハンマリの鍋料理。両脚を内側に丸めた鶏、ざく切りの葱とナツメが浮かんでいます。煮え立った頃合いを見計り、ハサミで捌いてもらった鶏を食します。韓国料理と聞いて想像する「辛味」とは無縁な、和みの逸品。
嘗ては霞町と呼ばれし西麻布交差点脇に十々を出店したのが遠山氏。煙モクモクの焼肉のイメージ

を一新させた功労者です。その後、会員制のハウス・オブ・1999を南青山に開業。煙草商で財をなした人物が旧鍋島藩の令嬢と結婚した昭和初期に建立し、その後、横井英樹氏が保有していた洋館。世紀末を暗喩するアール・デコな室内にエルテの作品を飾る。黄金の80年代の時空を築きました。彼は星霜を経て、「医食同源」へと至ります。その集大成が草思庵です。品書きには膨大な料理が並び、それらは何れも丹念な調理が施されています。『業界人』が浮遊

する時空、との世上での喧伝とは些か異なる、誠実さと真つ当さを実感するでしょう。
翻って、従軍慰安婦は「戦争をしている」とこの国にもあったでしょ」と会長就任会見で高言した御仁は、「もみ」と振り仮名を記さずとも「粉殻」を「ゆとり教育」世代に読解可能とさせたのが唯一の功績、と冷笑されています。
が、僕は発言の直後から、オランダの国名を挙げた一点に於いて彼は「アウト」だ、と申し上げてきました。「なぜオランダに今ごろ

まだ飾り窓があるんですか」って、そりゃ、オランダでは日本と違って売買春が合法だからでしょう。ならば、橋下徹氏が顧問弁護士だった大阪は飛田新地の「顔見せ」はどうなんですか、と痛いブーメランが返ってくる話です。
が、そんな与太話に留まらぬ悩ましき歴史的事実を抱えるのが、日蘭関係。即ち日本軍占領下のインドネシアで日本軍人がオランダ人女性を民間人抑留所から強制連行し、軟禁状態で強姦した「白馬事件」です。国際軍事裁判で軍人・軍属に有罪が宣告され、7年前には改めてオランダの下院が日本政府に対し、彼女達への謝罪と補償を求める決議を行っています。
と記すや、オランダの植民地を解放したのは日本じゃないかと激高する向きは、ポツダム宣言に基づく「敗戦国」の境遇を「サンフランシスコ講和条約」で受け容れるのが国際社会復帰の契約条件だったと冷静に想起すべき。
豈図らんや、「自虐史観」を御批判の皆様が「自爆史観」を歴史に刻む事態が相次いでいます。二百歩譲って自画自賛の「自虐史観」で愉しむ内は、本人と周囲の悦楽で留まります。が、「国連体制」は「戦後レジーム」の「卓袱台返し」は、巻き添えテロの「自爆史観」。国際社会に於ける「日本及び日本人」への信頼を毀損する、とツイッターで憂慮した所以です。

